

# NiTRO SHIBUYA × クレジット



取材にご協力いただいた小鷹浩司氏(左)と田中優貴氏



EDIT3



開放感のある明るいロビー



MA室

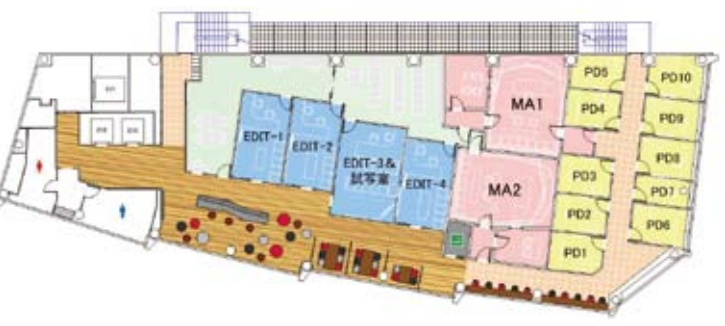
## 渋谷に完全4K対応ポスプロが誕生

渋谷の中心地、東急百貨店本店の真向かいにある、渋谷フラッグビルの7階に2015年4月23日、新しいポスプロがオープンした。株式会社日テレ・テクニカル・リソースズ(以下:ニトロ)が運営する、NiTRO SHIBUYAだ。

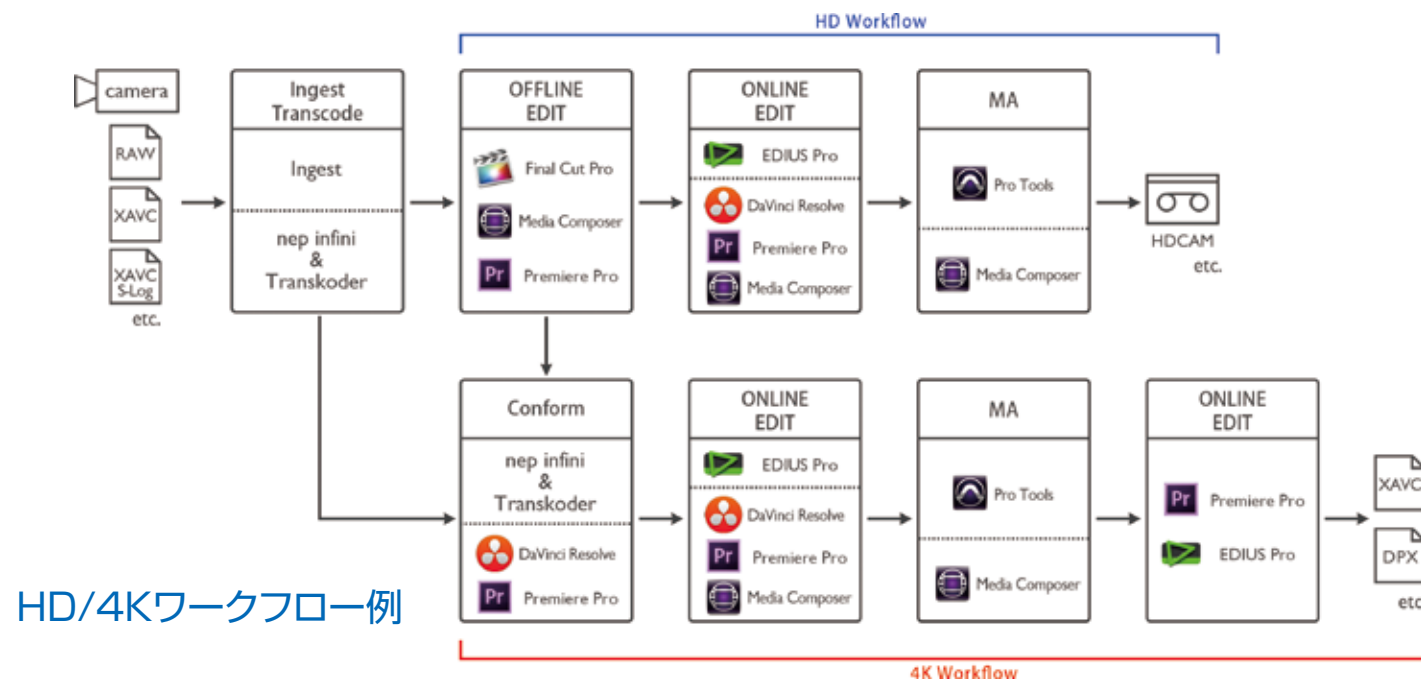
売りはなんとといっても、全室完全4K対応というところ。EDIT4室(内1室は試写室兼用)、MA2室、PD10室を完備。オフラインからオンライン・MAまで、ファイルベースワークフローを可能とし、4K・HD一貫作業を実現しているのだ。なぜ今から渋谷に進出したのだろうか?「渋谷にあるポスプロさんで4K対応されているところがまだ少ないため、4Kをターゲットにビジネスチャンスがあると昨年の夏くらいに社内で決定し、秋から場所を抑え準備を始めました」(同社ポスプロ技術センターポスプロ技術部長 小鷹浩司氏)。企画してから実行までが迅速な動きもニトロの強みというべきか。

それでは詳細を紹介していこう。まずはEDIT(=オンライン編集室)4室。EDIUS 4K (HDWS-4K)、4K Premiere(Bluefish444)、VWS 4K、サブのPCのMacProが基本構成。さらにDaVinci Resolveが2式あり、EDIT4室のすべてで作業可能となる。4K PremierelはBluefish444のターンキーシステムとして各部屋に一式ずつ導入されている。「ニトロでは汐留でも4K Bluefish444の編集実績があったし(本誌2014年6月記事掲載)、制作スタッフからの評価も高かった」と小鷹氏はBluefishに信頼を寄せてくれている。これらサブPCを除く各マシンはベースとして属する編集室を決めているが、KVMのマトリクスを組んでEDIT4部屋から好きなマシンを選択して操作することが可能。つまり編集作業後のレンダリングや書き出しなどを別の編集室で継続して行えるわけだ。4K用ストレージはminiSAS(容量少ないが高速)、またはThunderbolt(容量が多く接続が容易)で運用。HD編集では4K同様に外付けストレージの運用を行うが、サーバーでの作業も可能である。各室84インチの4K対応クライアントモニター、特に圧巻なのは試写室を兼ねるEDIT3の120インチプロジェクターだ。これはソニーの最新式のレーザー発光による4K超短焦点プロジェクターで、現時点では他でも導入例は少ないようだ。もちろん5.1chサラウンド音響での試写が可能。また、EDIT3ではDaVinci Resolveの純正サーフェス設置にも対応できる作業スペースを確保している。次にPD(=オフライン編集室)10室。Avid Media Composer、Final Cut Pro7、Final Cut Pro X、Adobe Premiereが使用可能。MacとWin8.1の

ブートキャンプによってAvid Media Composerのみ両OSに対応できる。外付けストレージでの運用が基本だが、サーバーとの接続も可能となっている。データのインジェスト、テープからのデジタル化・デジタルカットはラボで作業し、編集室とDC Roomのデッキをつないでノンリニアからの吐き出しを行う。グレーディング用の部屋として使用する際には、ラボのnep infiniを移設して作業する。nep infiniはColorFrontのグレーディングやトランスコードを行うソフトウェア「TransKoder」と、データ管理機能を備えた「nep infini」を組み合わせた4K制作支援システム。4K素材を高速に2Kに変換して、プライマリグレーディングや4Kフィニッシュまでトータルにマネージメントする。4K制作を従来のワークフローで行うためには、容量が大きく数も多いファイルの管理、RAWデータを効果的に使うためのカラー管理など、4K特有の要素を効率的



EDIT 4室(EDIT 3は試写用120インチプロジェクター)、PD 10室、MA 2室



HD/4Kワークフロー例

に管理する必要がある。そこでnep infiniの導入により、収録メディアのメタデータやカラー管理、各種編集ソフトからの編集データの管理、映像アーカイブのためのデータベースなど、全体の連携をスムーズに行える。nep infiniのワークフローは、4Kカメラで撮影してきた素材をインジェスト、ファイル単位でコメントなどのメタデータを入力し管理することが可能で、それをTransKoderで読み込み、プライマリグレーディングを行い、4KからHDにダウンコンバートしてオフライン編集へ流れる。オフラインからの編集データを元にnep infiniではコンフォーム、および最終的なプライマリグレーディングを行い、4Kとして書き出すことができる。各種機材の大半を一カ所に集約して管理するのがData Communication Room(DC Room=通信室)だ。VTRIはHDCAMが10台、HDV2台(HDCAMはEDITとMA各部屋に1台、残り4台がPDとラボの兼用、HDVはラボ用)。その通称ラボはData Management Labと名づけられている。ここでは、インジェスト、クローン作成、簡易グレーディング、データ変換を中心に作業。その後の編集システムに合わせたデータ形式への変換を行う。サーバーはHD編集用にEditShare 192TB(3TB×64)、MA用にDDP(2TB×12)を設置。EditShareは映像ファイル、テロップデータの保存、MAとのブリッジメディアとして使用する。EDIUSとDC Room間は10Gbps、

それ以外は1Gbpsで接続される。DC Roomではラウドネス測定器を2式、Hardingを1式設備し、ルーターから必要なソースを選択して作業する。また今後は汐留とのダークファイバー接続も予定しており、汐留と渋谷、それぞれのサーバー間のすべてにアクセスが可能となる。さらに将来的には、両拠点のテロップシステムVWSのサーバー同士をつないでの運用も視野に入れているとのことだ。オンライン編集室に勝るとも劣らない「かなりのこだわり」(小鷹氏)というのがMAの2室。音声コンソールC-300(SSL)とDAWプラグインを組み合わせ、高品質5.1chサラウンド対応のスタジオを完備。日東紡(音響システム)のNESモニタースピーカーとAGSを採用することにより、理想的な音響空間といわれるナチュラルでフラットな森の中のような音場を実現している。

窓が大きく開放感ある明るい採光のロビーでは、吸音パーテーションで仕切られた打ち合わせスペースを用意。個別の作業に最適なカウンター席も10席用意している。さらに4K対応の84インチ大型モニターを設置し、各種4K放送チューナーと4Kファイル再生機を設置して、快適な空間を提供している。

渋谷に最先端の4K映像制作の拠点が誕生した!

共用機材	データ管理 / トランスコード	nep infini / Colorfront Transkoder	4式
	グレーディング	Blackmagic Design DaVinci Resolve	2式
	フラッシュ&パターンアナライザー	Harding HFFA-HD	1式

## NiTRO SHIBUYA機材リスト

編集室	Non-Linear System					Character Generator	Master Monitor	Preview Monitor
	EDIT-1,2,4	4K/HD オンライン	grassvalley EDIUS (HDWS-4K)	Adobe Premiere Pro (Bluefish444)	Apple FCP 7 / 10 (Mac)	Avid Media Composer (Mac/Win)	VWS-4K (Win)	4K有機EL BVM-X300
EDIT-3 & 試写室								120インチ 4Kプロジェクター (VPL-GTZ1)
PD 1~10	HD オフライン	Apple FCP 7 / 10 (Mac)	Avid Media Composer (Mac/Win)	Adobe Premiere Pro (Mac)			HD有機EL PVM-A250	49インチ 4K液晶モニター (49J10X)
MA	MA-1,2	ドラマ・サラウンド対応	ミキシングコンソール	メインDAW	サブDAW	メインスピーカー	サラウンドスピーカー	スモールスピーカー
			SSL	Avid	Avid	NES	GENELEC	Micropure
			C300HD	ProTools HDX	ProTools HD Native	211S(T)	8040A, 7070A(LFE)	AP5001II (pro)
	プラグイン		WAVES Mercury / McDSP Everything Pack / Avid	ReVibe .Impact.HI-Res Parametric EQ / Zynaptiq UNVEIL	他			マスターレコーダー
								TASCAM
								DA-3000
デジタル室	ソフトウェア	Final Cut Pro / Avid Media Composer / Adobe CC / EDIUS など各種編集ソフトに対応						
	対応メディア	HDCAM / HDV / DVD / Blu-ray / Professional Disc / SxS / AXS / P2 のほか各種民生メモリーカードなどに対応 ※その他各種データ形式の変換にも対応						



株式会社日テレ・テクニカル・リソースズ(略称NiTRO)が渋谷地区にオープンした「NiTRO SHIBUYA」は渋谷駅から徒歩3分という好立地。オフラインからオンライン・MAまでファイルベースワークフローを可能とし、4K・HD制作の一貫作業を実現した。

東京都渋谷区宇田川町33番6号  
渋谷フラッグ7階  
TEL:03-5457-2106  
FAX:03-5457-1061  
http://www.nitro.co.jp/